



発行日：平成28年2月
編集・発行：矢作川流域圏懇談会事務局

◆第7回川の地域部会を開催しました！

1月18日（月曜日）に第7回川の地域部会が豊田市職員会館にて開催されました。今年度及び今期3ヶ年の川部会の活動成果報告と次年度以降の活動計画について話し合い、全体会議に諮る内容について確認しました。



日時：平成28年1月18日（月）13:30～16:00
会議場所：豊田市職員会館2F 第1会議室
参加者：19名（事務局含む）

◆主な意見交換内容

1.本日の話し合いで決まったこと



■活動成果報告について

- 成果報告前段に各モデルの課題のポイントを記載します。
- 3ヶ年（平成25年度～平成27年度）の活動成果報告は、各モデルでできたこと、決定したことや良かったことをより詳細に記載します。
- 総合土砂流域管理検討委員会や豊田市矢作川河川環境活性化プラン検討委員会との連携も引き続き進めていきます。
- 次年度以降は必要に応じて再度ワークショップを実施します。
- 一般の方でもわかりやすい資料となるよう工夫します。
- 修正後の資料については、内田先生、鷺見先生に確認・承認いただき、全体会議に諮ります。



■今後の活動方針について

- 白浜工区周辺のモニタリングと併せて、工区周辺の生き物に関する調査状況も確認していきます。
- 保全エリアに関する検討は、既存の国交省資料や豊田市河川環境活性化プラン検討資料等を基礎資料として、話し合いを進めていきます。
- 関連する自治体（豊田市、岡崎市、安城市、碧南市、西尾市）における河川利用等に関する計画を確認し、可能であれば積極的な連携を進めていきます。
- 次年度以降のとりまとめでは、他地区、他支川での展開を見据えた整理を進めていきます。
- 修正後の資料については、内田先生、鷺見先生に確認・承認いただき、全体会議に諮ります。



2.意見交換



●出席者による主な意見交換内容は、以下のとおりです。

(1) 活動成果報告について

(・意見 ▶回答)

全体会議資料案のうち活動成果報告について事務局より説明があり、意見交換を行いました。

- 豊田市河川環境活性化プランについては、我々が検討する全ての課題と関係があるので1項目おこしていただきたい。また、家下川の生き物の棲みかという言葉は、今回の成果に対して少し大仰ではないか。(本守)
 - ▶昨年までにまとめられた各モデルの課題のポイントに沿って記載している。資料の前段に課題のポイント一覧を追加する。(事務局)
- 今期3ヶ年の成果をもう少し詳細に記載いただきたい。順序も上に持ってきていただきたい。(内田)
 - ▶特に家下川モデルについては、豊田市河川課や豊田加茂建設事務所、国交省、土地改良区がお互い情報を出し合って検討して進めてきた。そういった評価を含めたまとめがあった方がよい。(内田)
 - ▶何がどれに結びついて検討していったということが分かりにくいので、目標に沿って分類できるとよい。こんな結果が出てこうなった、こういった方向が決定した、といった内容がもっと出せるとよい。(光岡)
- どういったプロセスを経て解決に向かったのかということが一般の方にもわかるような資料にしてほしい。可能であれば、内部向けと外部向けの2種類あるとよい。(山本)
- 実際の矢作川の工事について、3ヶ年でどういう議論をしたかについても記載が必要である。(本守)
 - ▶一番大きかったのは樹木の伐開の件と巴川合流点の改修工事である。家下川の合流点の件もある。(内田)
- 今後の総合土砂管理委員会や豊田市河川環境活性化プランとの連携を進めていく必要がある。(内田)
 - ▶他の関係自治体についても河川環境整備や河川利用等に関する計画があるか確認し、積極的に関わっていくのも良いのではないか。(本守)
 - ▶岡崎市には豊田市のような計画をつくる話は無いが、リバーフロントという考え方については現在検討中である。(三宅)
 - ▶岡崎市、安城市でサイクリングロードをつなげるような話も出ている。(伊奈)
- この懇談会には、多様な立場の人たちが集まっている。その中でざくばらんに個人的な内容から専門的な知見まで色々なものを出しあって混ざり合うこと必要である。(浅田)
 - ▶グループごとに机を囲んで意見や気づきを書いた付箋を貼っていくワークショップを以前のWGでは実施していた。これまでの成果や皆さんの考えをもつ一度整理するため、次年度でもう一度取り入れてはどうか。(内田)
 - ▶以前のワークショップでは、家下川モデルや本川モデル、加茂川の水門などの話が出て、それについて細かく検討しようとなった。もう一度ワークショップで再検討していくことによって、もうワンランク上の検討ができるのかなと思う。(松井)

(2) 今後の活動方針について

全体会議資料案のうち今後の活動方針について事務局より説明があり、意見交換を行いました。

- 生き物の多様性をテーマとしているため、白浜工区周辺の検討では生き物との相互関係についても調査する必要があるのではないか。(野田)
 - ▶アユについては漁協で調査されている。他に多いのはオイカワとカワマスではないか。(光岡)
 - ▶阿部さんが中心となって年に1回魚釣り大会が実施されている。(松井)
 - ▶懇談会での調査はなかなか難しい。既存調査結果を確認するとともに、矢作川研究所さんにぜひ調査を検討いただきたい。(内田)
- 保全エリアマップについては豊田市河川環境活性化プラン等での検討と重複するため、既存資料を見て我々の意見をまとめてはどうか。(内田)
- 家下川モデルについては、阿部さんの意見を含めて検討する必要がある。(内田)
 - ▶家下川の生き物マップは阿部さんの知識をいただければ、作成できるのではないか。(伊奈)

(3) 振り返り

よかったと思うこと：「川部会」の目的、価値に関心を深めた。/「やる事、やれる事」の整理整頓の努力が見えた。/本川モデル、家下川モデル、地先モデルについて一応まとまったと思います。

よくなかったと思うこと：参加メンバーが少なかった。/3ヶ年の復習をしてくるとよかった。

今後取り組んでいきたい活動など：本川モデルに関する活動/矢作川の各ポイント(ターゲット)を定め、リアリティーを高める。/出席者を増やすにはどうしたら良いか考えて、行う?

質問など：各年度及び3年間の目的があるけど、目標(値)がない。または長期継続的に観る指標(理想形目的につながる定量的な指標)による定点定時計測ができるとよい。/継続(現地検討)

今後の流域圏懇談会の予定

■第7回市民会議 日程が決まり次第、MLにてご連絡いたします。

■第5回全体会議 平成28年2月22日(月)14:00~



◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 大森、係長 桑、技官 宇野
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト(yahagigawa@ijinet.or.jp)までお送りください。

